

## 自然災害発生時における業務継続計画

放課後等デイサービス mirai			
法人名	合同会社 A S K	種別	放課後等デイサービス
代表	紅林茂夫	管理者	後藤有希
事業所所在地	沼津市大岡 2449-1 ヒーローマンション大岡 1F	電話番号	055-957-6778
法人所在地	駿東郡清水町八幡 178-1	電話番号	055-955-5577

## 1. 総論

### (1) 基本方針

本計画は、大地震等の自然災害や感染症の蔓延などをはじめとした、突発的な経営環境の変化や不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断せざるを得なくなった場合であっても、可能な限り短期間で復旧させるための方対応や体制、手続き等を示すものである。事業継続にあたっては、以下の方針に基づき、実施することとする。

- ① 利用者・スタッフの安全確保、安否確認を最優先に行う
- ② 必要な人的資源・物的資源、環境整備について明確に定める

### (2) 推進体制

(ア) 各事業所の責任者をもって構成する「災害対策委員会」を設置する

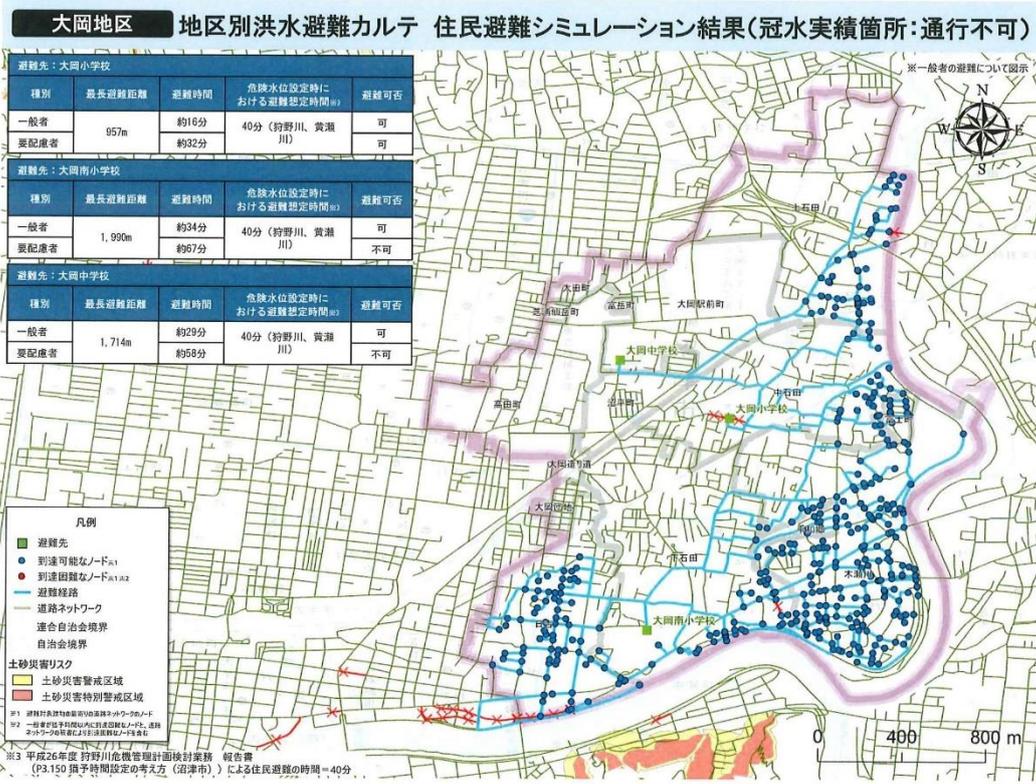
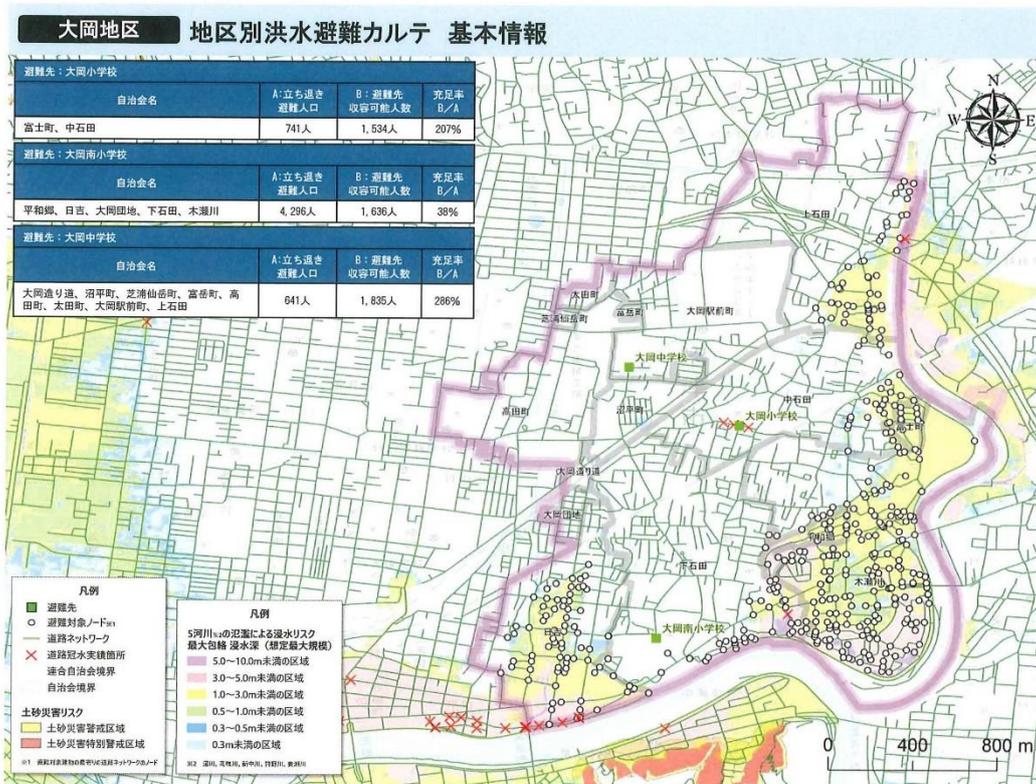
(イ) 委員会は、下記の業務を行う

- ① 災害対策委員会は、BCPの算定及び職員への研修計画の実施状況の把握並びにBCPの見直しを行う為、定期的に会議を開催する
- ② BCPに関する職員への研修・訓練を必要に応じて実施する

権限・役割	役職・部署
統括	代表
統括代行（災害・感染症）	管理者
総合窓口（共通） 情報提供・情報収集 保護者・関係機関との連絡調整	管理者 事務局 児発管・
利用者対応（共通）	課長・係長
物資調達・環境整備（共通）	主任・常勤者

(3) リスクの把握

① 【大岡地区ハザードマップ】





③ 被災想定

◆沼津市における想定結果の概要

区 分 (主なもの)		概 要
ライフライン	上水道	発災直後：ほぼ全域で断水 1週間後：50%断水 1ヶ月後：ほぼ復旧
	下水道	市内で排水困難な地区が発生 応急復旧はレベル1で1週間、レベル2で1ヶ月程度
	電 力	発災直後：90%停電 応急復旧はレベル1、2とも1週間程度
	通 信	[固定電話] 発災直後：90%不通 応急復旧はレベル1で1週間、レベル2で1ヶ月以上 [携帯電話] 1日後非常につながりにくい状態 応急復旧はレベル1で4日後、レベル2で2週間程度
	ガ ス	[都市ガス] 供給停止戸数はレベル2で約26% (但し埋設管被害は考慮していない) [LPガス] 機能支障戸数はレベル2で約20%
交通施設等の被害	道 路 (緊急輸送路)	東名・新東名：大きな被害なし 国道1号：一部区間で不通。1ヶ月間交通規制 その他：一部区間で橋梁損傷、山崖崩れ、液状化、津波等により不通。 いずれの道路も一般車両通行は1ヶ月以上
	鉄 道	新幹線：大きな被害はないが一時運行停止 在来線：運行に支障が生じる
	港 湾	4日目以降に緊急物資の海上輸送が行われる レベル2は短期間での復旧は困難のことも考えられる
	ヘリポート	離着陸場内に住民が避難していたり、アクセス道路被害で輸送機能に支障が生じる可能性がある
生活支障等	避難者	発災直後：レベル2で避難所へ約3万人が避難 1ヶ月後：レベル2で避難所は約5千人まで減少
	物資不足	1～3日間は充足。レベル2では4日目以降(7日目まで)は食料が約38,000食の不足が生じる
	し 尿	仮設・簡易トイレは充足

◆清水町における想定結果の概要

区 分 (主なもの)		概 要
ライフライン	上水道	発災直後：ほぼ全域で断水 1週間後：50%断水　1ヶ月後：約10%断水
	下水道	発災直後：町内の一部で排水困難な地区が発生 応急復旧はレベル1、2とも1ヶ月程度
	電 力	発災直後：90%停電 応急復旧はレベル1、2とも1週間程度
	通 信	[固定電話] 発災直後：90%不通 応急復旧はレベル1、2とも1週間程度 [携帯電話] 1日後非常につながりにくい状態 応急復旧はレベル1、2とも4日程度
	ガ ス	[都市ガス] 供給停止戸数はレベル2で約71% (但し埋設管被害は考慮していない) [LPガス] 機能支障戸数はレベル1で約7%、レベル2で約14%
交通施設等の被害	道 路 (緊急輸送路)	東名・新東名：大きな被害なし 国道1号：一部区間で不通。1ヶ月間交通規制 その他：一部区間で橋梁損傷、山崖崩れ、液状化により不通。いずれの道路も一般車両通行は1ヶ月以上
	鉄 道	新幹線：大きな被害はないが一時運行停止 在来線：運行に支障が生じる
生活支障等	避難者	発災直後：レベル2で避難所へ約500人、避難所外へ約300人が避難 1週間後：レベル2で避難所へ約2,600人、避難所外へ約2,600人が避難 1ヶ月後：レベル2で避難所へ約1,200人、避難所外へ2,700人が避難
	物資不足	1～3日間、レベル2の場合約800食不足。4日目以降(7日目まで)は食料が約23,700食の不足が生じる
	し 尿	仮設トイレは充足

(4) 事業所で想定される影響と対応 (3日目で復旧想定)

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
電力	発電機		復旧	→	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄		復旧	→	→	→	→	→	→
生活用水	停止		復旧	→	→	→	→	→	→
携帯電話	停止	復旧	→	→	→	→	→	→	
メール	停止	復旧	→	→	→	→	→	→	

(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

① 研修・訓練の実施

区分	項目	習得目標	対象者	時期
災害研修	災害を学ぶ	過去・予想される災害について学ぶ	利用者 スタッフ	年2回
避難訓練等	災害に備える	避難訓練の実施	利用者 スタッフ	年2回

※訓練が一過性で終わらず、計測して実施することを担保する。

② BCPの検証・見直し

毎年2度行う防災訓練・避難訓練の振り返りを、各事業所会議及び児発管会議・全体会議を利用し、BCPに関する評価や検討を行い、計画の作成・修正につなげていく。

## 2. 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

① 建物・説部の耐震措置

名称	場所	備考
ヒーローマンション大岡	沼津市大岡 2449-1	新耐震基準設計のもの
宮澤正之貸店舗1階号	沼津市大岡 2473	新耐震基準設計のもの
清水町八幡店舗	駿東郡清水町八幡 178-1	新耐震基準設計のもの

② 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
キャビネット・書庫	落下防止など備品への対応	
消火器等	委託業者による消火器等の 設備点検 保管場所の確認	

③ 水害対策

対象	対応策	備考
浸水や危険性の確認	特に対応せず	
外壁の欠損や以上の確認	管理業者との連携	
暴風による危険性の確認	天気予報や注意情報をもとに確認	
外壁の留め金具の錆やゆるみ	避難訓練時に確認	
周囲に倒れそうな樹木や飛散物がないか	リスクが高いものについては自治体等へ申し入れを行い対応を依頼	

④ 電気が止まった場合の対応

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
照明器具	懐中電灯
PC	バッテリー充電器

⑤ 水道が止まった場合の対応

【飲料水】 飲料水用のペットボトルは、当面の運搬の手間を省くため利用者の状況によっては、あらかじめ利用者に配布する。備蓄にあたっては、消費期限に留意する。

【生活用水】・給水車からの給水を受けるためのポリタンクを用意する  
・簡易トイレ・オムツの使用、紙皿・紙コップの使用等、水を使わない代替手段を講じる

⑥ 通信が麻痺した場合の対策

- ・ 緊急連絡網を整備し、定期的に見直し、訓練を行う
- ・ 複数の連絡手段で関係機関と連絡が取れるよう準備しておく

⑦ システムが停止した場合の対策

- ・ 電力供給停止などによりサーバー等がダウンした場合  
→ 携帯電話等、別の手段にて対応
- ・ データ類の喪失に備え、最新のデータのバックアップを行う

⑧ 衛生面（トイレ等）の対策

【トイレ対策：利用者】

- ・ 電気・水道が止まった場合、速やかに簡易トイレを設置する

- ・ 排泄物や使用済みオムツの保管場所を決める

【トイレ対策：職員】

- ・ 簡易トイレ、生理用品を備蓄する
- ・ 電気・水道が止まった場合は、速やかに簡易トイレを設置する
- ・ 排泄物などはビニール袋などに入れ消臭剤を使用し密封し、利用者の出入りのない空間へ隔離、衛生面に留意し保管しておく

⑨ 必要品の備蓄

(食料品)

品名	数量	消費期限	保管場所	管理者
飲料水	1 ケース		各教室	教室スタッフ
インスタント食品	10		各教室	教室スタッフ

(衛生品)

品名	数量	保管場所	管理者
救急セット	1	各教室	教室スタッフ
マスク	2	各教室	教室スタッフ
ウェットティッシュ	2	各教室	教室スタッフ
生理用品	1	各教室	教室スタッフ

(日用品)

品名	数量	保管場所	管理者
紙皿・紙コップ	30	各教室	教室スタッフ
ラップ	2	各教室	教室スタッフ
使い捨てカイロ	30	各教室	教室スタッフ
ハサミ	2	各教室	教室スタッフ
タオル・ふきん	10	各教室	教室スタッフ

(災害用備品)

品名	数量	保管場所	管理者
ポリ袋	10	各教室	教室スタッフ
ポリタンク	2	各教室	教室スタッフ
ブルーシート	1	各教室	教室スタッフ

### 3. 緊急時の対応

#### (1) BCP 発動基準（地震）

沼津市・清水町周辺において震度 6 以上の地震が発生し、被害状況や社会的混乱を総合的に勘案し、法人代表が必要と判断した場合、法人代表の指示により BCP を発動し、対策本部を設置する。

#### (2) 行動基準

発生時の行動指針は下記の通りとする。

- ① 自身及び利用者の安全確保
- ② 二次災害への対策
- ③ 地域との連携
- ④ 情報発信

平常時 日常点検・情報共有交換訓練・見直し

↓

直後 命を守る行動（安全確保・避難）

↓

当日 二次災害対策（避難場所の確保等）

↓

体制確保後 事業再開

↓

体制回復後 通常営業・業務

↓

完全復旧後 評価・反省・修正

#### (3) 対応体制

- 統括責任者 地震災害対応対策の実施全般について一切の指揮を行う。
- 情報班 行政と連絡を取り、正確な情報を入手するとともに支持を仰ぎ統括責任者に報告するとともに、利用者家族に対して利用者の状況を連絡する。
- 消火班 火元の点検及び確認。発火防止対策を行うとともに、発火の際には消火に努める。
- 物資班 食料・飲料水の確保に努めるとともに、飲料水等の配布を行う。
- 安全指導班 利用者の安全確認、施設設備の損傷を確認し報告する。班長の指示がある場合は利用者の避難誘導を行う。家族への引継ぎを行う。

- 救護班 負傷者の救出、応急手当及び病院への搬送を行う。
- 地域救護班 地域住民や近隣の福祉施設と共同した救護活動、ボランティア受け入れ体制の整備対応を行う。

(4) 対応拠点

第1 候補場所：法人所在地（清水町八幡 1 7 8 - 1）

第2 候補場所：第1 教室所在地（沼津市大岡 2449-1 ヒーローマンション大岡 1F）

#### 4. 安否確認

(1) 利用者の安否確認

- ・ サービス提供中に被災した場合に備え、緊急連絡先の把握にあたっては、複数の連絡先や連絡手段（固定電話、携帯電話、メール等）を把握する。
- ・ サービス提供時間外の発災に備え、利用者への安否確認の方法等をあらかじめ整理しておく。
- ・ 利用中に被災した場合は、利用者の安否確認後、あらかじめ把握している緊急連絡先を活用し、利用者家族への安否状況の連絡を行う。
- ・ 負傷者がいる場合は救護班が応急処置を行い、必要な場合は速やかに救急病院へ搬送。

(2) 職員の安否確認

- ・ 施設内で被災した場合は、利用者の安否確認と併せて点呼を行い、管理者へ報告する。
- ・ 自宅等で被災した場合は、①LINE グループ ②携帯電話（固定電話）③災害伝言ダイヤルで施設まで自身・家族の安否情報及び、出勤可否を報告する。

(3) 職員の参集基準

- ・ 営業時間外に震度 5 以上の揺れが発生した場合、職員から統括責任者に連絡を取り、安全を確保しながら参集する。
- ・ ただし、自宅が被災した場合や交通機関、道路などの事情で参集が難しい場合は、参集しなくても良いこととする。

(4) 施設内外での避難場所・避難方法

- ・ 施設内 各事業所：訓練室
- ・ 施設外 地域指定避難場所

(5) 重要業務の継続  
利用者が安全に通所できることが確認されるまで、サービス提供は中止する。

(6) 職員の管理

- ・ 休憩・宿泊場所 各教室指導訓練室
- ・ 勤務シフト  
勤務できるスタッフを確認し、出勤状況に応じて決定する。

(7) 復旧対応

① 破損個所の確認

対 象		状況（いずれかに○）	対応事項・特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
(フロア単位) 建物・設備	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	書庫キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	

② 連絡先一覧の整備

③ 情報発信

情報発信にあたっては、法人としての方針の決定を踏まえて対応する。

## 5. 他施設との連携

(1) 連携体制の構築

① 連絡先との協議

相談支援事業所・行政・関係機関の連絡先リストを作成し、必要に応じて協議する。

② 地域のネットワーク等の構築・参画

通常の業務の中で連携している機関の連絡先リストを活用し対応する。

(2) 連携対応

① 事前準備

- ・ 被災時の連絡先（連絡方法）の確認
- ・ 職員の相互派遣に関する確認
- ・ 利用者の受け入れに関する確認

② 利用者情報の整理

- ・ 緊急時に備えて作成してある利用者個票を持参し、必要に応じて活用する。

③ 共同訓練

- ・ 自治会との連携を密にし災害時に備える。
- ・ 自治会の行う防火訓練等に参加する。

## 6. 地域との連携

(1) 被災時の職員の派遣

- ・ 現状では職員の派遣予定はなし。

(2) 福祉避難所の運営（事前準備）

- ・ 現状では運営する予定はなし。